

# トラブルシューティングに技術NDAが必要な理由の理解

## 内容

---

[はじめに](#)

[製品概要](#)

[テクノロジーNDAとは](#)

[いつTech NDAに署名する必要がありますか？](#)

[なぜTech NDAに署名する必要があるのですか？](#)

[Tech NDAへの署名](#)

[Tech NDAに署名する必要があるのは誰か](#)

[関連情報](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、Cisco SWA、ESA、およびSMAの継続的なトラブルシューティングに Tech Non-Disclosure Agreement(NDA)が必要な場合とその理由について説明します。

## 製品概要

Tech NDAの複雑な作業に進む前に、まず3つの特定のシスコ製品について学習します。

- ESA ( Eメールセキュリティアプライアンス )。
- SWA ( セキュアWebアプライアンス ) は、以前はWebセキュアアプライアンス(WSA)と呼ばれていました。
- SMA ( セキュリティ管理アプライアンス )。

## テクノロジーNDAとは

技術NDAは、データの機密性を保証するためにシスコとお客様の組織が相互に署名した法的文書です。

この文書は、両当事者を法的に拘束し、両当事者間のインタラクションで共有される機密情報の漏洩を防止します。

## いつTech NDAに署名する必要がありますか？

特定のシスコ製品は、セキュアなリモートアクセスを可能にする機能を顧客に提供します。これにより、許可されたシスコのエンジニアは、ルートシェルに直接接続してトラブルシューティング機能を拡張できます。ネットワーク制限やその他の企業ポリシーが原因でデバイスへのリモートアクセスを有効にできない場合、Tech NDAを使用すると、Webex経由で接続した状態でシス

コがお客様と協力し、ルートシェルにアクセスできるため、お客様はデバイスで実行されたコマンドや変更をリアルタイムでモニタできます。

このアクセスにより、エンジニアはコマンドの実行、ディレクトリとログの検索、プロセスのレビュー、およびデバイスのフロントエンド（お客様向け部分）では不可能な他のタスクの実行が可能になります。

このアクセスを使用して可能な操作の例を次に示します。

- コアダンプファイルを分析します。
- アクセスできないディレクトリおよびログの可視化
- プロセスとリソース消費に関する詳細。
- ハードウェア診断.
- コードの変更。
- その他

## なぜTech NDAに署名する必要があるのですか？

シスコ製品のバックエンドから収集された情報はHighly Confidential Restrictedに分類され、Tech NDAは、Webexの実施中またはその他の時点で観察されたシスコの機密情報が、意図した対象者以外の者に漏洩しないようにするのに役立ちます。

## Tech NDAへの署名

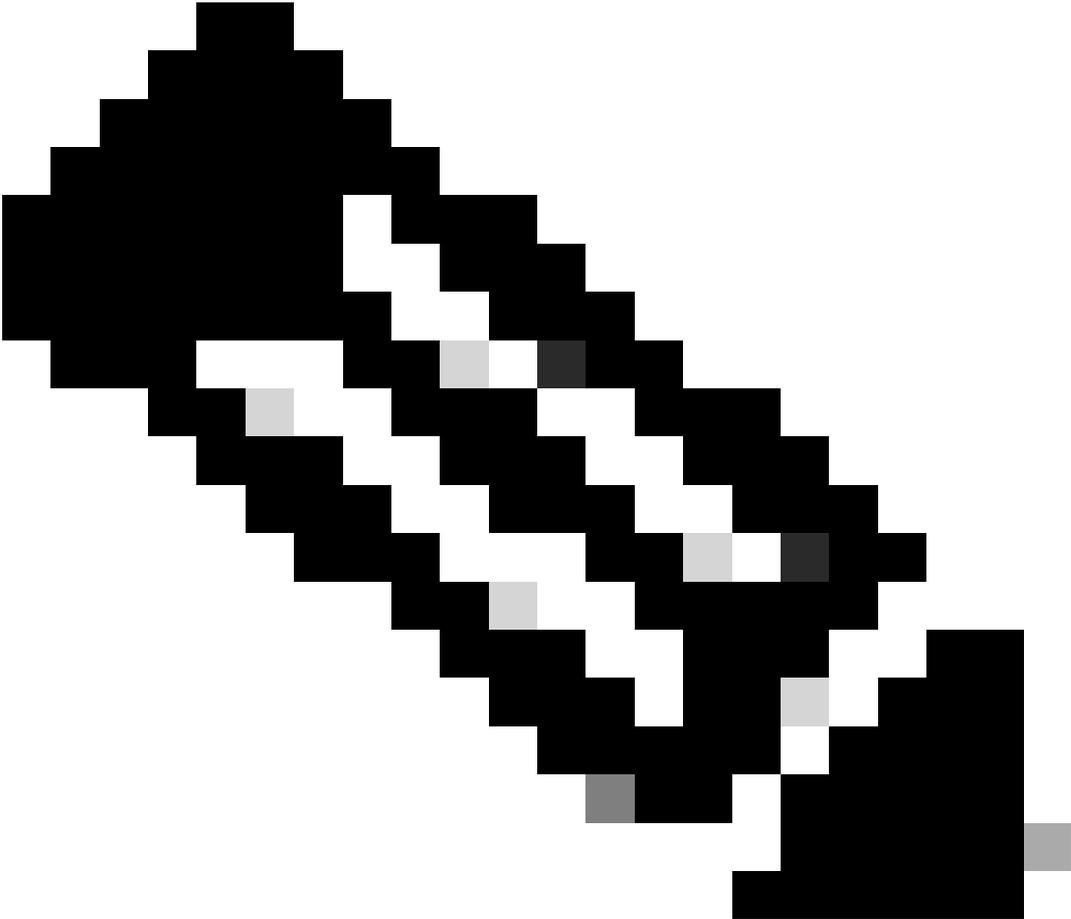
Tech NDAを歌うには2つの方法があります

[1]サービスリクエストに割り当てられているTACエンジニアに連絡して、NDAのドラフトを電子メールで送付してください。条件に署名して同意し、シスコと共有します。最終的な確認を待ちます。

[2]アカウントマネージャ(AM)に連絡して、次の情報を提供できます。

- 会社の正式名称
- Country
- 住所
- 都市
- 郵便番号
- 署名者の名前
- 署名者のEメール：会社のドメインから送信する必要があります。

---



注:NDAが過去1年以内に別のサービスリクエスト(SR)に対して署名された場合、そのNDAは引き続き有効です。そのNDAに関連付けられているSR番号を現在のケースのオーナーに伝えてください。

---

## Tech NDAに署名する必要があるのは誰か

会社を法的に代表する権限を持つ個人。

通常はWebExセッションに最後から参加するユーザですが、マネージャレベルのユーザを推奨します。

## 関連情報

- [Cisco ESA/WSA/SMA でのリモートアクセスに関する FAQ に関するテクニカルノート](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。